

設計図書質問回答書

工事名：配水管布設工事（工水配改7-2）

質問	回答
①地元調整の結果、大型車両通行のため、覆工板等の仮設備を設置した場合は、設計変更の対象との認識で宜しいでしょうか。	関係機関等との協議のうえ、必要に応じて協議対象とします。
②施工条件表にて作業時間内の埋戻復旧ありと記載があります。本工事では当日復旧が不可能な管種を布設するため、『埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること』という箇所が該当し、関係各所への連絡および貴局に報告した上で当日復旧を行わないとの認識で宜しいでしょうか。	本工事は即日復旧ではありません。
③第2明細表及び第10明細表の土留工賃料に計上されている軽量鋼矢板及び軽量金属支保の重量およびリース期間を御教示ください。	重量およびリース期間は公表しておりませんが、重量は30mスパンを一区切りとし必要な重量を見込んでいます。期間はSPφ800mmを布設するために必要な期間を見込んでいます。
④第2明細表及び第10明細表の開削水替ポンプ運転工の日数を御教示ください。	連絡管の水抜き作業に必要な日数を見込んでいます。水替ポンプ運転は各1日を見込んでいます。
⑤施工条件、湧水の状況により、水替ポンプの常時排水が必要となった場合は設計変更の対象との認識で宜しいでしょうか。	湧水状況により協議対象とします。
⑥本工事は週休2日工事（発注者指定型）ではないとの認識で宜しいでしょうか。	本工事は週休2日工事（発注者指定型）の対象ではありません。
⑦E工区における鋼管吊り込み据付作業時は道路上に重機を設置し、開削内に吊り込みと想定しています。吊り込み作業および仮溶接時までは車道に重機を配置し、大型車両の通行が不可となりますが、各社の車両出入れ可能であれば、上記内容で施工可能との認識で宜しいでしょうか。	E工区の沿線各社の出入りを確保することで、施工可能とします。